

## 4 コンピュータ活用

### 1 基本的な考え方

私たちはテレビや新聞などで、コンピュータに関連した情報を毎日のように見かけている。特別に意識していなくても、普段使う家庭電化製品の中にさえ、コンピュータ製品は使われている。今や、生活の中にコンピュータは無くてはならないものになった。今後、パーソナルコンピュータがテレビのように各家庭・各個人に普及していくことは、容易に想像できる。子どもたちが成長していく過程で、今以上にコンピュータにふれ、かかわることが多くなるであろう。コンピュータを上手に活用することは、自分たちの生活をより豊かにしていくことになる。

コンピュータを使えば、いろいろなことができる。計算をすることもできれば文章を書くこともできる。絵を描くこともできれば作曲をすることもできる。また、市販のソフトウェアを使えば、効率的に学習を進めることも可能である。最近では、インターネットや電子メールなど、コンピュータは通信手段のひとつになっている。これからのコンピュータ活用の学習が、単にコンピュータと向き合うのではなく、ネットワークで結ばれたコンピュータの画面の向こうに人がいて、その人と交流ができる喜びを感じ取ることができるようになればと考えている。そのためには、情報の取り扱いについてのルールとマナーを大切にすることも育てていかなければならない。

### 2 ねらい

「コンピュータ活用」の学習に取りくむにあたって、次のような目標を設定した。

- (1) コンピュータなどの機器に主体的にかかわり活用し、生活をより豊かにしていこうとする。
- (2) コンピュータの基本操作技能を身につけることができる。
- (3) コンピュータの通信機能を生かした利用をし、情報収集や情報発信をすることができる。
- (4) コンピュータの活用を通して、情報の取り扱いについてのルールやマナーに気づき、自分の問題として考えることができる。

### 3 学年別のねらい

低学年 自分の思いを絵で表現することで、コンピュータに興味・関心をもつことができる。

中学年 自分の思いを文章で表現することで、コンピュータのいろいろな機能に慣れ、親しむことができる。

高学年 電子メールやインターネットなどのソフトを通して、自分の思いを相手に伝えたり、必要な情報交換をしたりすることができる。

### 4 機器操作の学年配当表

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
コンピュータの基本操作	●	●	○	○	○	○
お絵かきソフトによる描画	●	●	●	○	○	○
ローマ字入力による文書作成	—	○	●	●	○	○
ネットサーフィン	—	—	○	●	●	●
電子メールによる情報交換	—	—	○	○	●	●
テレビ電話による情報交換	—	—	○	○	○	●

● 重点的に行う活動      ○ 必要に応じて行う活動

各学年の単元の学習内容

学年	単元名	ねらい	ハードウェアやネットワークの知識	ソフトウェア
1年生	コンピュータで絵を描こう。(1) 年間15時間	コンピュータの基本操作技能を身につけることができる	コンピュータの部位の名称 コンピュータ・ルールの使い方 コンピュータの起動と終了 マウスの使い方 キーボードの使い方 ソフトウェアの立ち上げ・終了の仕方	軌跡・直線・曲線・円などの描き方の選択のしかた スプレーや消しゴムの使い方 文字入力の仕方(手書き, パレット等) 背景色の換え方 マウスの効果的な使い方 読み込み・保存の仕方など
2年生	コンピュータで絵を描こう。(2) 年間15時間	コンピュータの通信機能を生かした利用をし情報収集や情報発信をすることができる	ソフトウェアの立ち上げ・終了の仕方 フロッピーディスクの扱い方 インターネットの概念 セキュリティに関すること ネチケットのこと 電子メールの概念 テレビ電話の概念	文字の入力方法 漢字変換の方法 文字の大きさや色の変え方 ローマ字入力の方法 文書の読み込み・保存の方法 ホームページのアドレスの入力方法 ホームページの見方 検索エンジンの使い方 おすすめのページの登録方法 メールの送信・受信方法 返事の出し方 ホームページの作り方
3年生	年賀状を作ろう。 インターネットって何だろう。 年間15時間	コンピュータなどの機器に主体的に関わり活用し生活をより豊かにしていこうとする態度を養う		
4年生	名刺を作ろう。 インターネットで調べよう。 年間15時間			
5年生	おすすめのページを見つけよう 手紙を書こう(電子メール)。 年間12時間			
6年生	他校の友達とお話をしよう。 年間12時間			